

■会長/小口 泰幸 ■幹事/宮坂 康弘

◆司会=川村総一郎SAA、吉越 潔副SAA

◆ゲストビジター=国際ロータリー第2600地区諏訪グループ
ガバナー補佐・山崎廣和様、同ガバナー補佐事務局幹事・河西
一彦様、米山奨学生・張旭光様

◆出席報告

本日	56.86%	22名欠席
前回訂正	80.39%	10名欠席

◆ラッキーナンバー=No. 35 古屋了君

◆ニコニコボックス=●小口泰幸君・宮坂康弘君=本日はガバナー補佐訪問例会です。山崎補佐、河西事務局幹事ようこそいらっしゃいました。よろしくお祈りします。米山奨学生の張さん、近況報告楽しみにしています。●山田文雄君・飯田兼光君・八幡一成君・平林正光君=山崎ガバナー補佐ようこそ。本日はよろしくお祈りします。●河西正一君・山本寛君・小平直史君=山崎ガバナー補佐ようこそ諏訪へ。宜しくお祈りします。●玉本広人君・平林明君・川村総一郎君・吉越潔君・合田敦子君=山崎ガバナー補佐ようこそ諏訪ロータリークラブ●五味武嗣君=明日は「まちあるき呑みあるき」が開催されます。皆様覗きにきて下さい。●森幸俊君=皆勤賞をいただいて●朝倉英仁君=長いお休みでした。「ガンバります」●古屋了君=ラッキーナンバーにあたって。

◆会長告知・小口泰幸君=先週、諏訪南中学校で行われたプロジェクト・図書贈呈式はおかげさまで無事終了することができました。ご協力ありがとうございました。

本日の会長告知は昨年度開催された会員セミナーの第2弾として森幸俊会員の講話を紹介させていただきます。

2008-2009年、諏訪クラブで3人目のガバナーが出たのが安川英昭さんでありました。その時、地区幹事ということで勤めさせていただきましたので、その時の様子を皆さんにお話すれば、地区とはどういうものなのか、あるいはガバナーとはどのような仕事をするのかというようなことがお分かりになるかなと思っております。

私は、1985年に諏訪のロータリークラブへ入れていただきました。ちょうど今年で40年になろうと、こういう年でございます。その間、三井さんが諏訪ロータリークラブでは2番目にガバナーをやられました。1993-1994年のことでありますが、この時に地区の副幹事ということで勤めさせていただきました。その時に担当したのが、いま皆さんに届いておりますガバナー月信の編集をいたしました。

当時、ガバナー月信の担当者というのは、毎月皆さんに届いているロータリーの友の編集委員でもあるということで、毎月東京へ行きロータリーの友の編集をいたしました。それによって、ロータリーとはどういうことなのかと大変勉強させていただきました。それ以来、いろんなロータリーの活動において、それが基本になり、また三井さんには大変お世話になったと思っております。

そして先ほどお話をしましたように、エプソンの相談役をされておりました安川さんに2008-2009年のガバナーという

ことになったわけでございます。これは安川さんにガバナーをやってほしいという、この2600地区の大勢の皆さんが期待をし、またお願いをする、大変異常というか、そういう状況でありました。

それは、これからお話を申し上げますけれども、地区において大きな課題が3つありました。これを解決するのは安川さんにやっていただくより他にはないというような流れの中で、安川さんがガバナーをやられました。当時、安川さんは諏訪クラブの会長をやっておりました。本来ガバナーになるには、1年間クラブの会長を全部終わるか、あるいは6カ月間会長を経験しないとガバナーになる資格がないというのがRIの規定でありました。安川さんはまだ4カ月ぐらいの時でした。がバナーノミニになるにはRIの許可を取らなくてはならない。そこで2600地区ではRIに特別に申請をいたしまして、安川さんをガバナーということで決定しました。

課題の第1点目。ではなぜ安川さんが2600地区のガバナーに推薦された、期待をされたかということをお祈りしますと、当時は非常にメンバーが減ってきた状況でございました。1987年に愛知県と分割をしてその時は41クラブ、約2,200人のメンバーでした。それから各ガバナーの皆さんが増強と拡大という2つの目的を持ちまして活動しました。増強というのは既存のクラブで会員を増やす、拡大というのは長野県の地区でクラブのないところにクラブを設立する、こういう2つのテーマを持ち、約6年後に57クラブ、3,200人の会員に膨れ上がったわけでありました。

ところがだんだんとロータリーのメンバーが減ってくる。これはRIもそうでした。約120万人いたロータリーのメンバーが100万人を切った。日本でも12万人いたロータリアンが10万人を切るようなところまで減ってしまった、ましてや長野県も3,200人が、安川さんがおやりになるところにはクラブ数は57クラブありましたが、1,000人くらい減り、3,200人が2,200人を切るぐらいの数字となり、なかなかクラブや地区を運営していくというのは大変な状況になっていたわけです。

それはなぜかということ、ロータリーというのはいろんなことにおいて人頭割という手法を使いまして、クラブ運営費、地区運営費、あるいはRI運営費を全部出しておりますので、メンバーが減るとということは、大変財務的にも厳しい状況になります。

それで、安川さんと色々話をしながら、とにかく持続可能な地区にするにはどうするか、やはり経費の節約をしなければならぬだろうということで、まず行ったのはガバナーとガバナー経験者がやっている諮問委員会にあります。とにかく旅費、日当、これは節約してほしい、交通費は自宅からじゃなくて駅から駅にしてほしい、こういうことをお願いして、三井さんにもバックアップしていただきました。

それから地区大会の簡素化をしよう。当時、安川ガバナーの時には岡谷エコーロータリークラブをお願いしまして地区大会をやりましたが、この地区大会をとにかく簡素化しよう。その1つが、地区大会が終わりますと取った録音を全部文字起こしして、ガバナーをはじめRI会長代理の挨拶、講演会の全てを一字一句文章にして、分厚い冊子にして全員に配った。これは約600万円かかったと思います。これを写真を多くして、見れば誰もがわかるようなものにしました。120万

円ととにかくやってほしいということで、それ以来今のよう
な報告書になりました。

と同時に、地区大会に記念品を出していた時があります。例
えば軽井沢では軽井沢彫り、あるいは松本では花瓶を全員に
配った。これはやめようということで、地区大会の記念品とい
うのは一切やめました。そのようなことをやりまして、とにか
く持続可能な地区を作ろうと。それが安川さんに期待をされ
たところです。

もう一つ、今、地区の役員は280人いると思います。ところ
が、先ほどお話ししましたように1,000人以上メンバーが減
って、各クラブから地区の役員を出してもらうのですが、前は
だいたい1クラブ57人ぐらいが平均でした。それが安川年度
になると40人ぐらいになり、その中で地区へ出す人たちをピ
ックアップして選出するのは大変クラブにも負担がかかる。
この組織をスリム化しようということで、280人ぐらいの組織
を180人へと100人減らしました。それで、その内容という
のは、兼務でやってほしい、いらぬところを減らしていこう、
ということでスリム化ができました。

課題の第2点目、3点目は次週お話しします。

◆**幹事報告・宮坂康弘君**＝①本日の例会は、ガバナー補佐事前
訪問です。山崎ガバナー補佐よろしくお願ひ致します。例会終
了後、ガバナー補佐ご出席のクラブ協議会を開催します。役員、
委員長、入会3年未満の皆さまは隣の会場に移動をお願いし
ます。②本日のゲストビジターは、諏訪グループガバナー補
佐・山崎廣和さん、グループ補佐事務局幹事の河西一彦さん、
米山奨学生の張旭光さんです。張さんには、後ほど近況報告を
行っただき、奨学金をお渡しします。③10月のロータリー
レートは1ドル142円です。④来週10月11日の例会
は休みになります。その次の10月18日の例会は、白鳥ガバ
ナー公式訪問となります。例会終了後には湖畔のやわらぎ像
の前で記念写真の撮影を行います。多くの会員の皆さまの御
出席をよろしくお願ひします。

◆**委員会報告●善治直樹青少年奉仕委員長**＝10/25(金)8:45
より、ローターアクトとの合同
夜間例会を行います。アクトの
皆さんを盛り上げるためにも多
くのご参加お待ちしております。
よろしくお願ひします。後ほど
案内いたします。



◆**米山奨学生奨学金贈呈 ●張旭光君**＝皆さん、こんにちは。
研究状況を報告します。セブラードが脂肪肝を改善する効果
を調べるために、肝臓における遺伝子発現レベルを分析し
ました。結果、SIBP1の発現は
予想通り減少し、PBαの発現
レベルも減少。セブラードは
血清中性脂肪を増加させるな
どでしたが、ガン抑制効果については確認することができな
かったため、セブラードのメカニズムを更に探索するために、
マイクロアレイ解析を行い肝臓遺伝子を網羅的に分析しました。



◆**クラブ協議・諏訪グループガバナー補佐・山崎廣和様**＝皆
さんこんにちは。今日はこのクラブに来るのを本当に楽しみに
していました。私が3歳の時にこのクラブが設立されたこと

に感慨深い気持ちを持っています。特に長野県は自然が美し
く、水や空気が良いところで、人々の人柄も素晴らしいと感じ
ています。

それでは、ガバナー補佐訪問ということで、概要RIテーマ
と方針、地区運営方針、地区の
課題と対応策について話した
と思います。国際ロータリー
の会員数は減少傾向にあり、現
在約115万人、日本では約8万
2,900人となっています。日本
ロータリー第2600地区では、52クラブしかなく、現在は1,837
人から1,800人という状況でやはり減っている状況が続いて
います。クラブ分布では、諏訪グループは50人以上のクラブ
が7クラブのうち4クラブあり、282名となっております。今
年のガバナー補佐組織は、地区幹事が岡部さんとなっており、
初めての女性の地区幹事となっています。白鳥ガバナー評が7
月号のロータリーの友に載っていますので是非ご覧ください。
さて、今まではロータリーでは、単年の方針でしたが、最優
先課題は会員を増強するというので、3年目標を掲げていま
す。継続性と変化のバランス、前任者が後任者と協力する、ク
ラブが取り組んできたことを伝え、クラブに根付いているこ
とに目を向け、クラブを強くし魅力的なものにする、1年間で
検証しながら良いクラブを作っていくということです。



コミットした目標は純増100名を目指してくださいという
ことです。多様性、公平さ、インクルージョン、DE&I、国籍、
性別、年齢、障害の有無を問わず活躍できる社会や地域の課題
を解決するためのクラブ活動をするということです。

具体的なプロジェクトとして、小学生を対象にした健康プ
ロジェクトがあります。これは、子供たちが正しい歩き方を学
ぶための体操を行うもので、親御さんや地域の人々にも参加
してもらうことで、ロータリークラブの魅力を広める狙いが
あります。地区の運営方針である「次の世代に何を渡せるか共
に考え行動する」、この部分が「夢の実現プロジェクト」であ
り、そういう風にプロジェクトを捉えてほしいと思います。

そしてスローガンは5%アップ。会員、寄付等、なんでもで
す。地区重点行動計画としても、100名純増、会員数5%ア
ップ、新クラブ5つ新設、新設はローターアクトクラブもしく
は衛星クラブとなります。茅野市立小学校で奉仕活動を行
います。これは、PTAや地区の人々にロータリークラブの活動を
知ってもらい、衛星クラブに入ってもらえないか、という活動
です。また、委員会の連携強化ということで横の繋がりを大事
にしていきたいと思っています。特に、地区委員会に参加いた
だくと地区に仲間ができ、地区のことがよくわかります。ク
ラブの活性化にもつながります。

最後に、ロータリークラブは楽しい場であるべきです。だか
らこそ、皆さんも楽しんで活動していただきたいと思いま
す。今年度も皆さんと一緒に楽しいロータリー活動を進めていき
たいと思います。ご清聴ありがとうございました。

◆**今後の例会日程**

10/25(金)	アクト合同例会 (アクト会員増強について)
11/1(金)	クラブフォーラム 「ロータリー財団」
11/8(金)	準法定休日